

平成22年度 三重県における高齢者虐待の状況について

平成23年12月6日
三重県健康福祉部長寿社会室

1 総論

(1) 各市町の相談・通報受理件数の合計

- ・ 県内の平成22年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数は、合計で601件でした。
- ・ 各市町ごとの相談・通報受理件数の内訳は、次のとおりです。

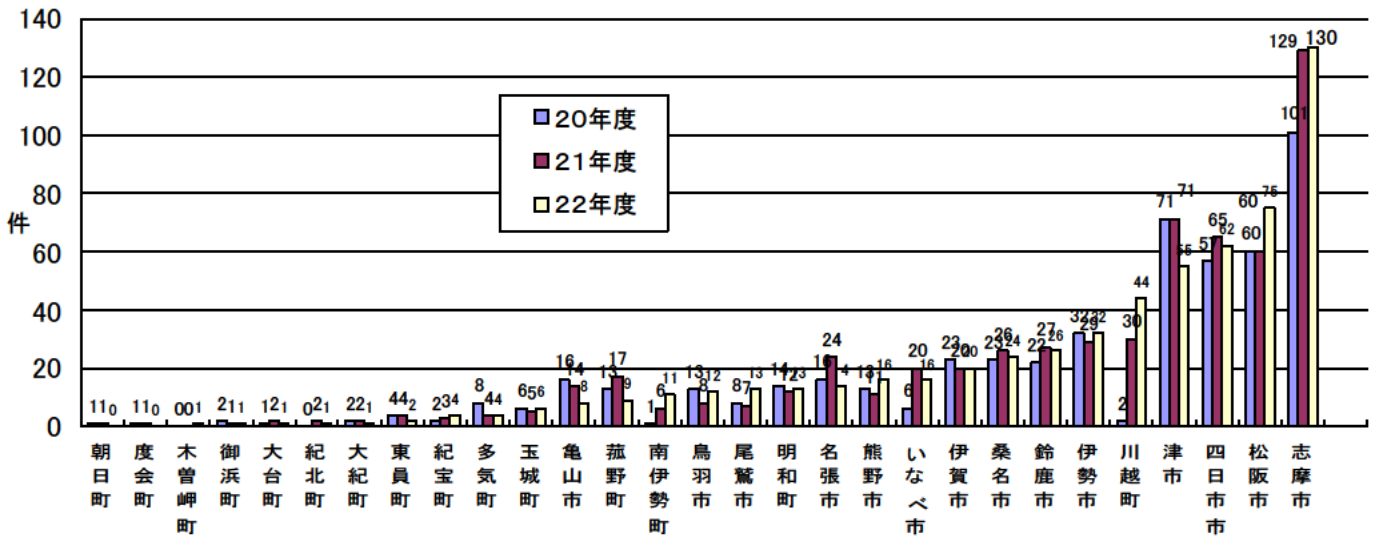


図1-1 平成22年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数

- ・ 相談・通報のうち、592件が養護者による虐待、9件が養介護施設従事者による虐待でした。

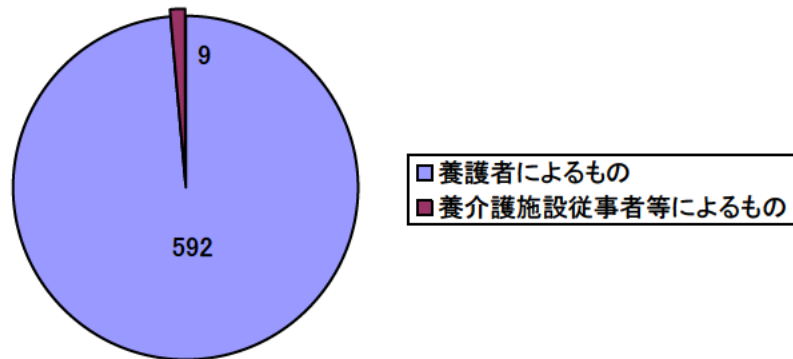


図1-2 平成22年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数の内訳

(2) 各市町において虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例

県内の平成22年度中の高齢者虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例は、合計で357件でした。

市町ごとの内訳は、次のとおりです。

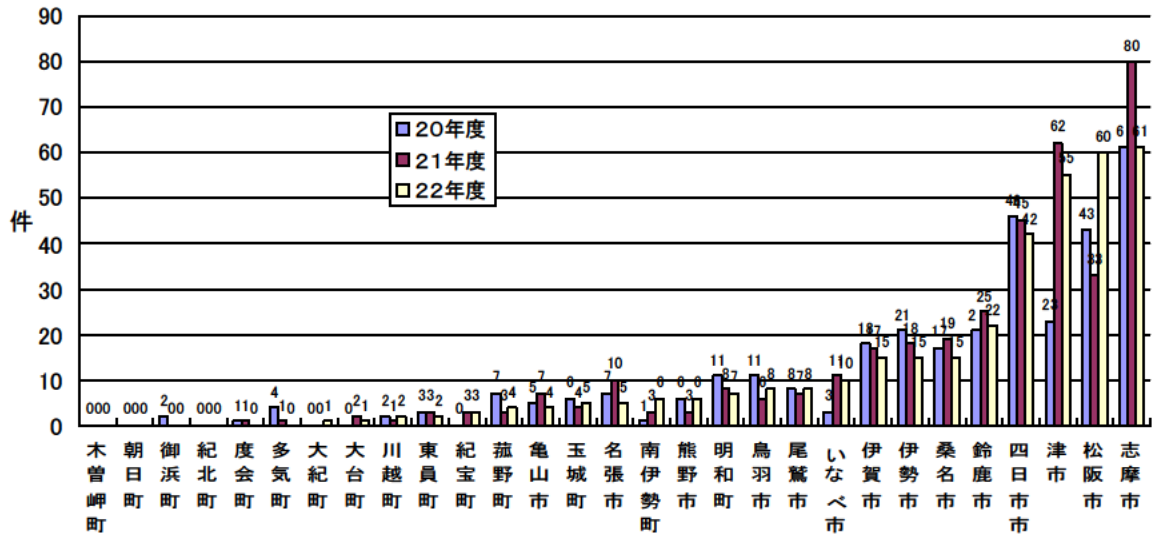


図1-3 平成22年度中の高齢者虐待の認定件数

- ・ 高齢者虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例357件はすべて、養護者による虐待で、養介護施設従事者による虐待はありませんでした。

2 養護者による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養護者による虐待 592 件を相談・通報者別に整理すると、うち、319人(53.9%)が介護支援専門員・介護保険事業所職員によるものです。

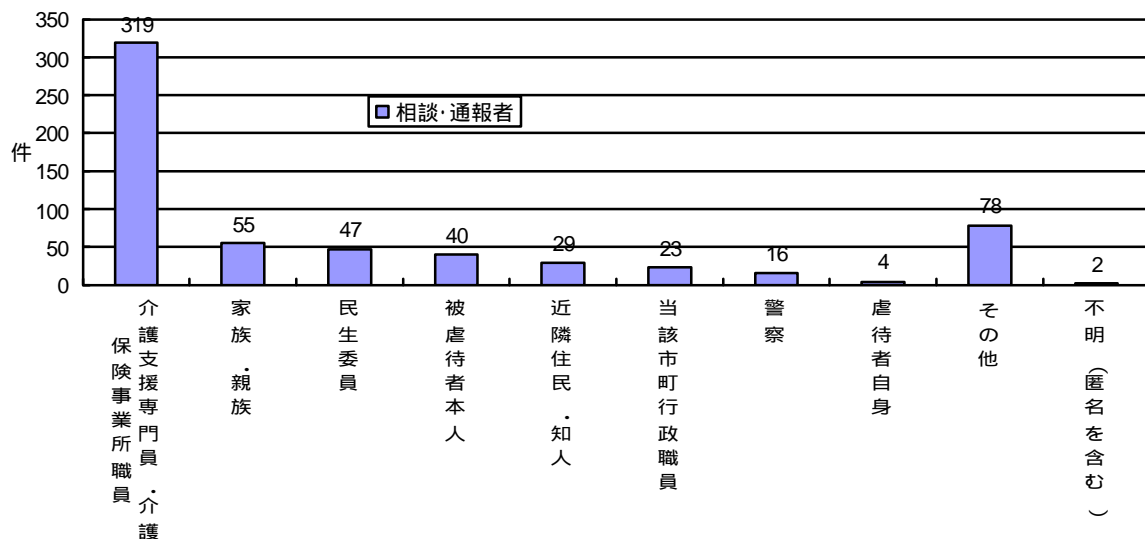


図2 - 1 養護者による虐待の相談・通報者別内訳(重複回答)

(2) 虐待の種別

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例 357 件のうち、もっとも多いのが身体的虐待 201 件(56.3%)です。

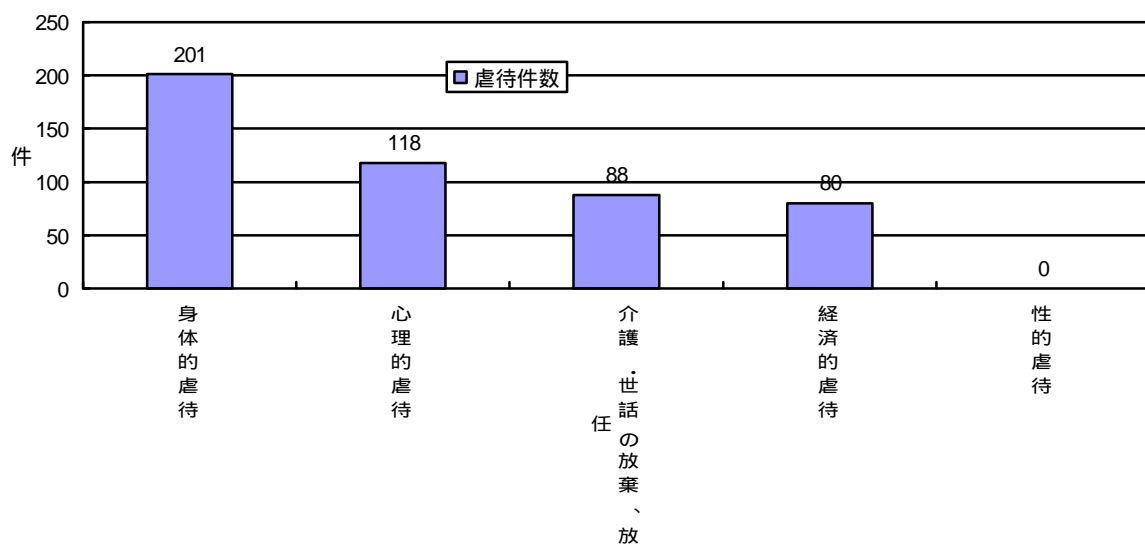


図2 - 2 虐待の種類(重複回答)

(3) 被虐待者の性別

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例357件（被虐待者数374人）のうち、女性が246人（65.8%）、男性が128人（34.2%）です。（1件につき複数の被虐待者もあり、件数とは一致しません）

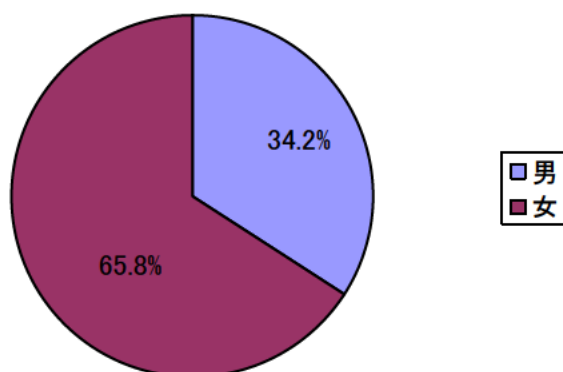


図2-3 被虐待者の性別

(4) 被虐待者の年齢

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例357件（被虐待者数374人）のうち、80～84歳が最も多く99人（26.5%）です。

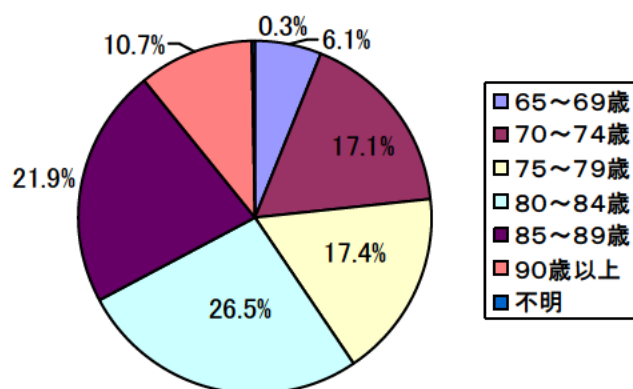


図2-4 被虐待者の年齢

(5) 虐待者との同居・別居

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例357件のうち、虐待者と同居が302件（84.6%）という状況となっています。

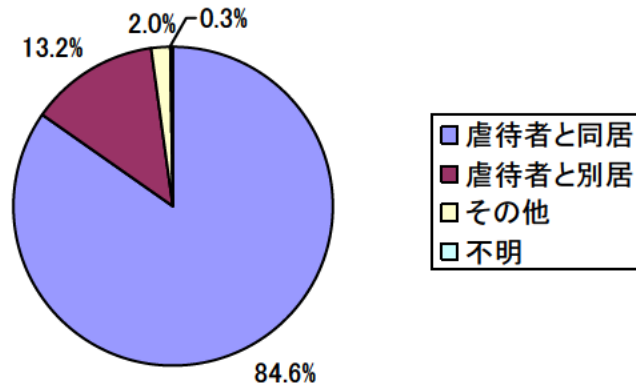


図2-5 虐待者との同居・別居の状況

(6) 世帯構成

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例357件のうち、最も多い世帯構成は、既婚の子と同一世帯及び未婚の子と同一世帯の227件（63.6%）となっています。

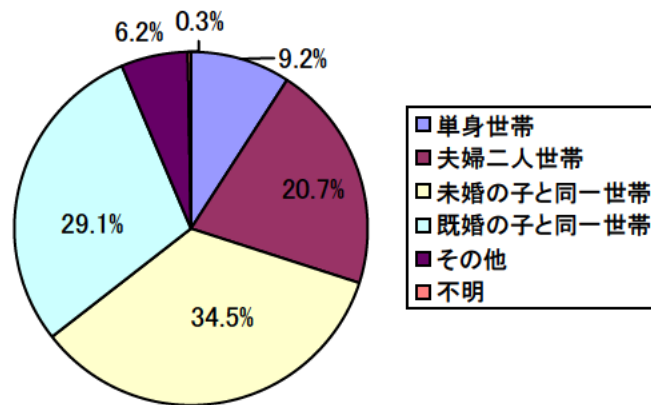


図2-6 世帯構成

(7) 被虐待者から見た虐待者の続柄

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例357件のうち、最も多い虐待者の続柄は息子で172人(48.2%)という状況です。

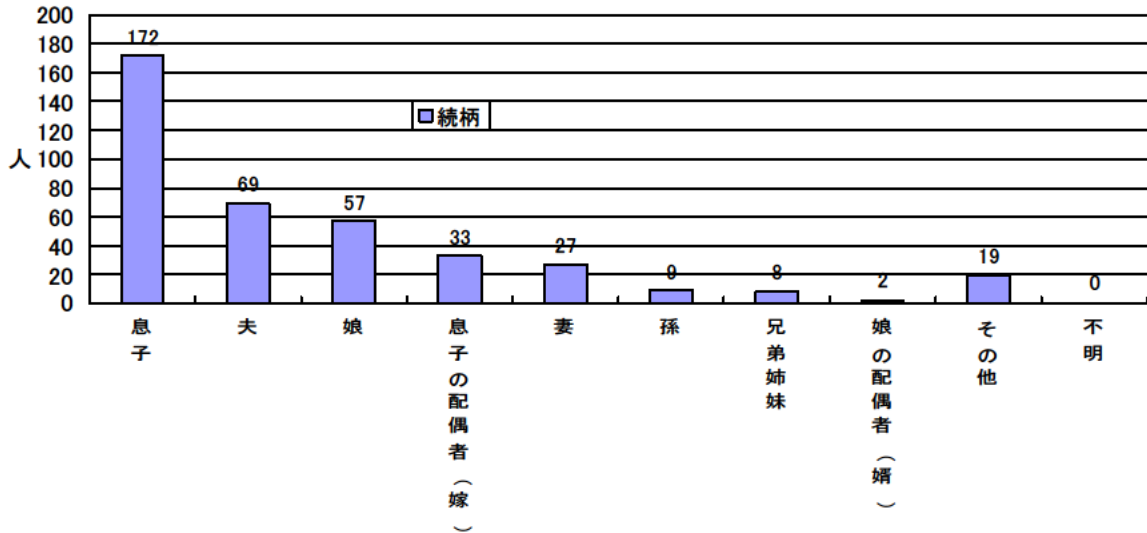


図2-7 虐待者の続柄(重複回答)

(8) 分離を行った事例の対応内訳

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成22年度中に被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った事例を行ったのは86件あります。但し、この件数の中には一部平成21年度に虐待と認定し対応が平成22年度となった事例も一部含まれています。
- ・ その内訳で最も多いのが「契約による介護保険サービスの利用」で36件(41.4%)です。

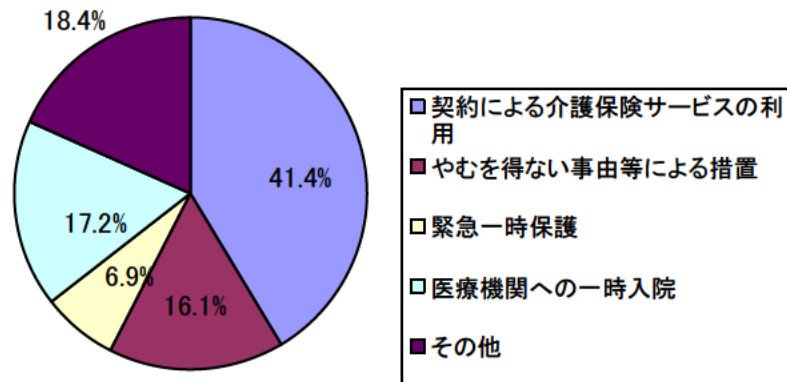


図2-8 分離を行った事例の対応内訳

(9) 分離していない事例の対応内訳

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成 22 年度中に被虐待者の保護と虐待者からの分離していない事例は 256 件あります。但し、この件数の中には一部平成 21 年度に虐待と認定し対応が平成 22 年度となった事例も一部含まれています。
- ・ その内訳で最も多いのが「養護者に対する助言・指導」で 110 件 (43.0%) です。

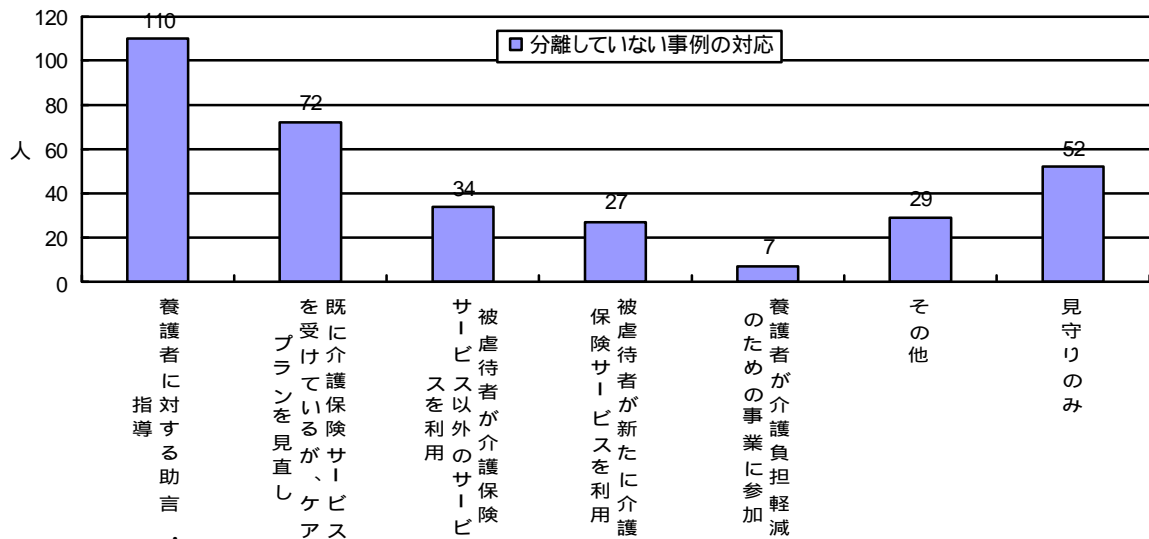


図 2 - 9 分離していない事例の対応内訳 (重複回答)

(10) 権利擁護に関する対応

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成 22 年度中に権利擁護に関する対応を行った事例が 27 件ありました。その内訳は次のとおりです。日常生活自立支援事業は、以前の「地域福祉権利擁護事業」の事業名称が変更したものです。

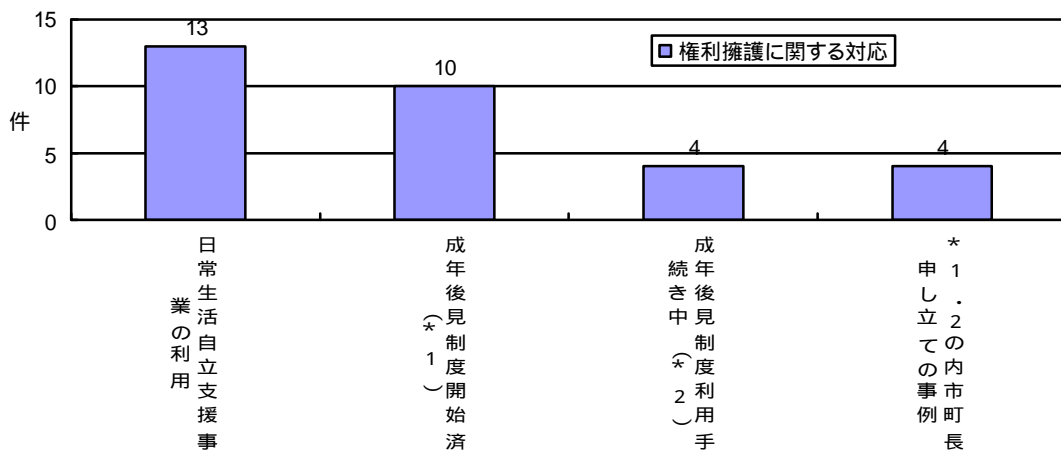


図 2 - 10 権利擁護に関する対応内訳

3 養介護施設従事者等による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養介護施設従事者等による虐待にかかる相談・通報があった9件を相談・通報者別に整理すると、次のような結果となります。

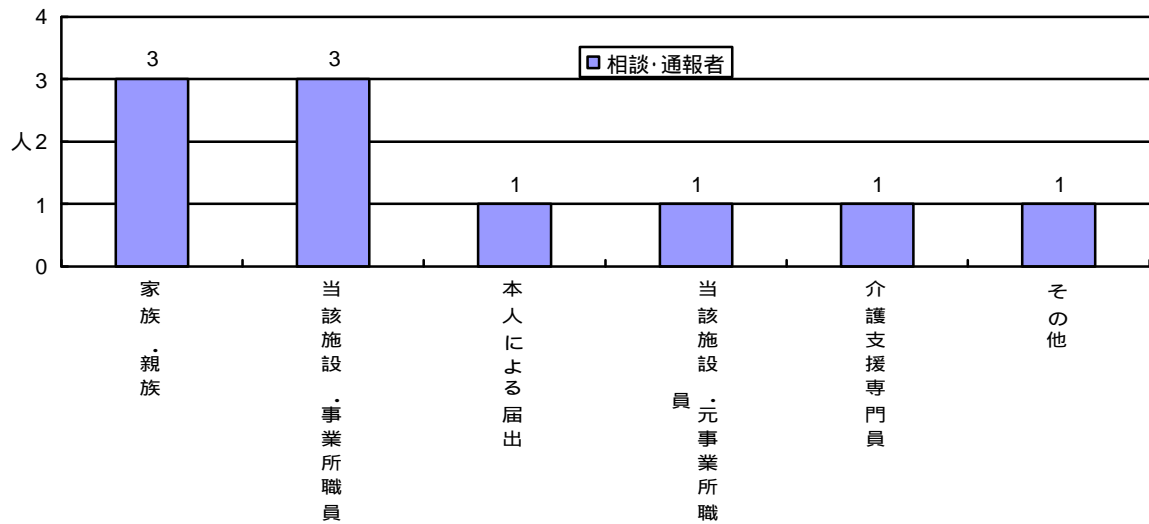


図3 - 1 養介護施設従事者等による虐待の相談・通報者別内訳（重複回答）

《参考資料》

虐待を受けた又は受けたと判断した事例の過去の概要について

養介護施設における従事者等による高齢者虐待について

				H22	H21	H20
養介護施設における従事者等による高齢者虐待件数（件）				0	3	3
高齢者虐待の状況	被虐待者の状況 （人）	性別	男性	0	1	0
			女性	0	2	2
			不明	0	0	1
		年齢階級	80~84 歳	0	2	1
			90~94 歳	0	1	1
			不明	0	0	1
		状態像	要介護 1	0	1	0
			要介護 2	0	1	0
			要介護 3	0	0	1
	要介護 4		0	1	0	
	要介護 5		0	0	1	
	不明		0	0	1	
	高齢者虐待の類 型（重複あり） （件）	身体的虐待	0	1	3	
		介護等放棄	0	0	0	
		心理的虐待	0	2	1	
性的虐待		0	1	0		
経済的虐待		0	0	0		
高齢者虐待に対して取った措置 （重複あり）（件）		施設等に対する指導	0	2	3	
		施設等からの改善計画の提出依頼	0	2	2	
		施設従事者等への注意・指導	0	0	1	
		介護保険法に基づく勧告・命令・処分	0	1	0	
		その他	0	1	0	
その他の事項	虐待があった施設等 の種別（件）	特別養護老人ホーム	0	1	2	
		老人保健施設	0	0	1	
		認知症グループホーム	0	2	0	
	虐待を行った要介護 施設従事者等の職種 （人）	介護職（介護福祉士）	0	0	0	
		介護職（介護福祉士以外）	0	3	0	
		介護職	0	0	1	
		管理職	0	1	0	
その他	0	0	1			
不明	0	0	1			

養護者による高齢者虐待について

				H22	H21	H20	
養護者による高齢者虐待件数（件）				357	369	324	
相談・通報者（人） 主な相談者		介護支援専門員・介護保険事業所職員		319	339	240	
		家族・親族		55	69	55	
		民生委員		47	34	34	
		被虐待者本人		40	58	48	
		近隣住民・知人		29	28	22	
		当該市町行政職員		23	27	24	
高齢者虐待の状況	被虐待者の状況 （人）	性別	男性	128	83	84	
			女性	246	300	246	
		年齢階級	80~84歳	99	105	95	
	高齢者虐待の類型（重複あり） （件）	身体的虐待		201	217	177	
		介護等放棄		88	90	103	
		心理的虐待		118	134	125	
		性的虐待		0	1	1	
		経済的虐待		80	98	75	
	虐待者との同居				302	309	273
	世帯構成	既婚の子と同一世帯及び 未婚の子と同一世帯		227	205	169	
	被虐待者から見た続柄 主な続柄	息子		172	139	159	
		夫		69	84	47	
		娘		57	58	43	
嫁		33	34	47			
妻		27	26	18			
孫		9	20	12			
兄弟姉妹		8	17	14			
高齢者虐待に対して取った措置（件）	分離を行った事例	契約による介護保険サービスの利用		36	44	30	
	分離を行わなかった事例	養護者に対する助言・指導		110	121	104	